科目名	専門演習Ⅲ　　SeminarⅢ						
科目担当者	萩原 駿史　　HAGIHARA　Toshifumi						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分］	経営学部・経営学科　［専門教育科目　演習］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	専門演習Ⅲでは，卒業論文の作成を通して，社会の問題を自分の専門的な視点から分析する力や、論理的な文書を構築する力を養うことを目指します．専門演習ⅠとⅡで学んだことの集大成として，それを論文の形式にすることが主な内容です．全体の流れとしては，各自で卒業論文のテーマを設定してもらい，資料収集にあたり，具体的な内容を詰めてもらい，論文作成を進めて行くことになります．その際に随時必要な指示，指導を行っていきます．						
授業の到達目標	① 演習で学んだことを実際の社会問題に適用し，具体的な解決策や提案を考えることができるようになること． ② 論理的な文章を組み立てる能力を高め，明確で説得力のある主張を展開できるようになること．						

授業計画・内容

1	演習の進め方について	16	卒業研究の進捗状況確認
2	研究テーマの設定（1）	17	卒業論文作成指導（１０）
3	研究テーマの設定（2）	18	卒業論文作成指導（１１）
4	卒業論文作成指導（1）	19	卒業論文作成指導（１２）
5	卒業論文作成指導（2）	20	卒業論文作成指導（１３）
6	卒業論文作成指導（3）	21	卒業論文作成指導（１４）
7	卒業論文作成指導（4）	22	卒業論文作成指導（１５）
8	卒業論文作成指導（5）	23	卒業論文作成指導（１６）
9	卒業論文作成指導（6）	24	卒業論文作成指導（１７）
10	卒業論文作成指導（7）	25	卒業論文作成指導（１８）
11	卒業論文作成指導（8）	26	卒業論文作成指導（１９）
12	卒業論文作成指導（9）	27	卒業論文報告会（1）
13	中間報告会（1）	28	卒業論文報告会（2）
14	中間報告会（2）	29	卒業論文報告会（3）
15	中間報告会（3）	30	演習全体のまとめ

授業外学修(事前学修)	各回の経過報告に向けて準備をしてください（2 時間程度）
授業外学修（事後学修）	報告後のコメントや指導を参考に自分の研究を深化させてください（2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
提出された論文の内容と完成度	100%	①，②

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書	なし
参考文献	それぞれのテーマに応じて指示します．
その他	